



🐰 新年あけましておめでとうございます 🐰

昨年は、ウクライナでの戦争や物価高騰などがあり国内外でさまざまな問題が生じました。また、新型コロナウイルス感染症のパンデミックによる第七波、第八波にも見舞われました。当院も新型コロナウイルス感染症への対応に追われた一年でした。

今後、新型コロナウイルス感染症への対応が緩和される兆しがあります。しかし、ウイルスがなくなる以上、特に病院内での感染対策は緩和することなく継続する必要があります。今年も気を緩めることなく、感染対策に力を注いでまいります。

「地域から信頼され、人に優しい医療の提供を目指して」の理念のもと、医療情勢にあわせて運営状況を変化させ、地域の皆さまに引き続きよりよい医療を提供できるよう、今年も努めてまいります。本年もよろしくお願いいたします。



院長 那須 輝

手洗い、 しっかりできていますか？



10月15日は、「世界手洗いの日」。宝塚第一病院では、外来に来られた方を対象に手洗いキャンペーンを実施しました。

74名の方が、参加されました！

手洗いチェッカーを使って手洗いの効果を見える化し、改めて手洗いの大切さをお伝えしました。



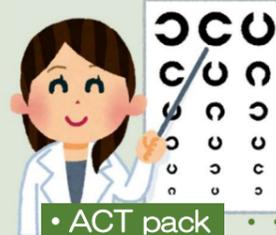
年末年始の特別メニュー



入院患者さまに、年末は年越しそばを、年始は赤飯、海老、数の子、昆布など、縁起の良い食材を使った献立を提供しました。寒い時期ですので、折詰めにせすに温かいお食事をご用意しました。

患者さまからは、「今年も年越しそばを頂けて嬉しかった」「まさか病院でお正月料理を頂けるなんて、ありがとう」と、お声かけやお手紙を頂きました。ひとときお正月気分を味わっていただけたようです♪

< 緑内障治療のご紹介 >



当院は一般診療の中でも、特に緑内障の治療に力を入れています。当院の眼科で取り入れている緑内障治療についてご紹介します。

・ACT pack

緑内障は、病気についての患者さまの理解が不十分なことが治療の中断につながり、気がつくと視野狭窄がかなり進行してしまっていることがあります。ACTpackは、緑内障という病気についての検査・治療方針をわかりやすく説明したパンフレットと、個別の治療方針の説明用紙をセットにしたツールです。初めて緑内障と診断された患者さまを対象に導入しました。お家でご家族の方にも見ていただき、病気について知っていただくことで、治療の継続が期待できます。

・極低侵襲緑内障手術 iStent inject W (アイステントインジェクトW)

白内障手術と同時に行える、負担の少ない緑内障手術です。眼圧コントロールの良い緑内障患者さまを対象に、点眼を減量することを目標に行います。



・ZEISS社製 Humphrey Field Analyzer3 840

緑内障の検査に必須の、視野検査機械を新しく導入しました。新しいプログラムにより検査時間が短くなり、患者さまの負担が軽減されます。従来使用していた機種とも互換性があるため、過去のデータと比較しながら診療することが可能です。

これからも眼科では、患者さま一人一人に寄り添い、丁寧な説明と新しい治療法を積極的に取り入れてまいります。スタッフ一同、地域に密着した愛される病院を目指しています。よろしくお願いいたします。



MSWからのお知らせ

昨年1月・2月に、地域医療連携室の医療ソーシャルワーカー（MSW）が1名ずつ入職し、あわせて4名体制となりました！今まで以上に、入院中・外来通院の患者さまやご家族への支援、また地域の先生方やケアマネジャーの方々との連携強化に取り組んでまいります。ご不安なことやお困りごとがありましたら、お気軽に地域医療連携室にご相談下さい。

赤木 健一 MSW

東大阪の一般急性期病院、リハビリ病院で勤務してまいりました。宝塚で働くのは初めてで、地域性や地理などを勉強中です。「明るく・元気よく」をモットーに、患者さまと接してまいります。よろしくお願いいたします。

元山 雄太 MSW

回復期リハビリテーション病棟、障害者・医療療養病棟での勤務はありますが、急性期病院での勤務は初めてです。どのような場面でも丁寧な対応を心がけ、笑顔で精一杯頑張っておりますのでよろしくお願いいたします。



地域医療連携室についてのお問い合わせはこちらまで → ☎ 0797-85-2702